

立式の方針

既存の量子力学の文法で
時間を含む波動関数 $\psi : \mathbb{R}^2 \rightarrow \mathbb{C}$
で表される量子歴史は

新文法では

$$\forall \chi : \mathbb{R} \rightarrow \mathbb{R};$$

$$\Phi[\chi] = \exp\left[\alpha \int_{-\infty}^{\infty} dt \phi(\chi(t), t)\right]$$

$$\psi(x, t) = \exp \phi(x, t)$$

で定まる汎関数 Φ で表される。

特にこの様な量子歴史については
 Φ に対する方程式が ψ に対する通常の
シュレディンガー方程式に帰着するように、
 Φ に対する方程式を決めたい。